

# 編修趣意書

## (教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-140	小学校	算数	算数	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 518	小学算数5		

### 1 編修の基本方針

#### 「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。  
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。

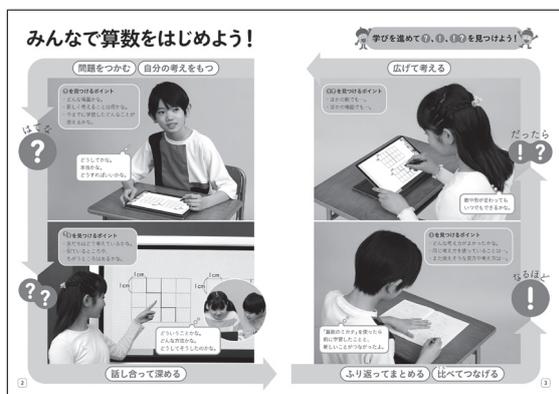


社会が急速に変化し、将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちには、主体的に学び、社会と関わり、他者と協力しながら、自ら未来を創り出していく力を育成することが求められます。

生涯にわたってつづく学びの原点となる小学校教育では、自ら考えて「わかった・できた」を実感する喜びや、友だちと一緒に問題を解決する充実感、学びと学びがつながり深まったときの感動を味わわせ、次の学びへと向かっていく力にしていきたいと考えます。

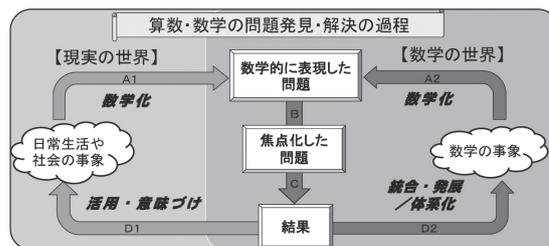
本書では、教育基本法が示す教育の目標の実現に向けて、次の基本方針のもとに編修にあたりました。

## 問いつづけ、よりよいものを求めて 改善しつづける子どもを育てる



▲「はてな? →なるほど! →だったら!」で進める学びの過程

“問い”の連続でつくる  
主体的・対話的で深い学び



▲算数・数学の問題発見・解決の過程 (文部科学省)

特色

1

学びに向かう力、人間性等の涵養

問題発見力・解決力・追究力を育てる教科書

特色

2

思考力・判断力・表現力の育成

見方・考え方を働かせて学び合う教科書

特色

3

生きて働く知識・技能の習得

学びをつないで確かな学力を育てる教科書

1 問いをもち、学び合うから、考えが深まる！

子どもの「**?**」からめあてをつくり、主体的・対話的な学びをとおして「問い**??**」を深め、「**!**」を見いだし、さらに、新たな「問い**!?**」へとつなげる構成にしました。未来を創り出していくのは、「問いをもつ力」です。

2 右のような直方体の体積の求め方を考えましょう。

でも、毎回、数を数えるのはたいへんだね。問題を工夫し、新しく考えることは何かな。

面積と同じように、体積も計算で求められないかな。

5 学習をふり返りましょう。

直方体の体積は、たて、横、高さの3つの辺の長さで決まるんだね。

立方体の体積は、どんな式で求められるのかな。

▲p.21 ~ 23

「**?**」から「**!**」へ「問い」の変容が見えるノート指導

面積と同じように、体積も計算で求められないかな。

直方体の体積は、3つの辺の長さで決まるね。

▲p.32 ~ 33

単元1～3は  
学び方のモデル単元

学習指導要領との対照表 p.2

単元 1 問題発見力モデル  
単元 2 問題解決力モデル  
単元 3 問題追究力モデル

2 伝え合い、学び合う学級をつくる！

授業開きの特設教材を楽しく解決しながら、学習の進め方を学級で共有できるようにしました。  
学びに向かう力は、わからないことを伝え合える学級文化から育ちます。

2つに分けよう

算数が好きになる はじめの一歩!

▲p.7 ~ 9

3 単元のまとまりで、学びを深める！

単元導入では身近な題材から算数の問題を発見し、単元末では活用問題をとおして「何ができるようになったか」を実感できるようにしました。  
単元のまとまりで、目的意識をもって主体的に学びを進めていくことができます。

13 グラフで「いちばん」を伝えよう!

身近な場面から問題発見!

学んだことを日常生活に活用!

プルーベリーの収刈り量 (2018年)

産地	収刈り量(トン)
東京	384
徳島	271
長野	259
奈良	242
その他	1234
合計	2388

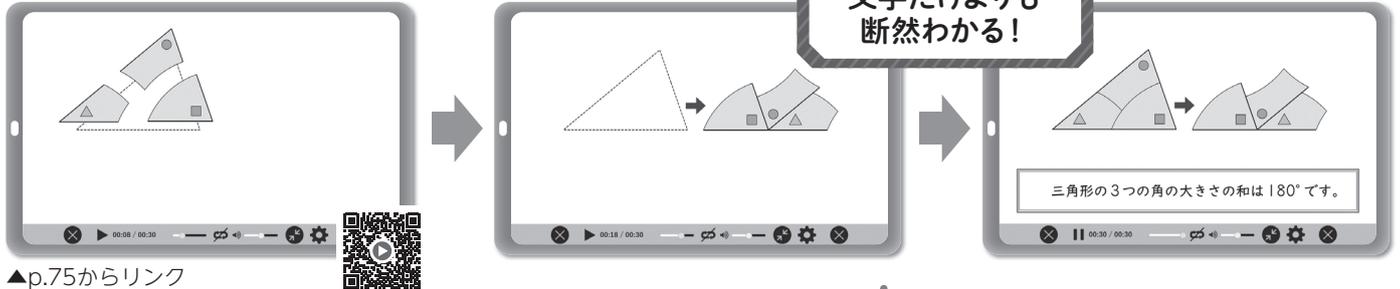
▲p.190

▲p.199



1 毎時のまとめが動くから、イメージでわかる！

「まとめアニメーション」で、知識・技能のまとめを視覚的に表現しました。デジタルで、毎日の授業のまとめ方が変わります。



文字だけよりも断然わかる！

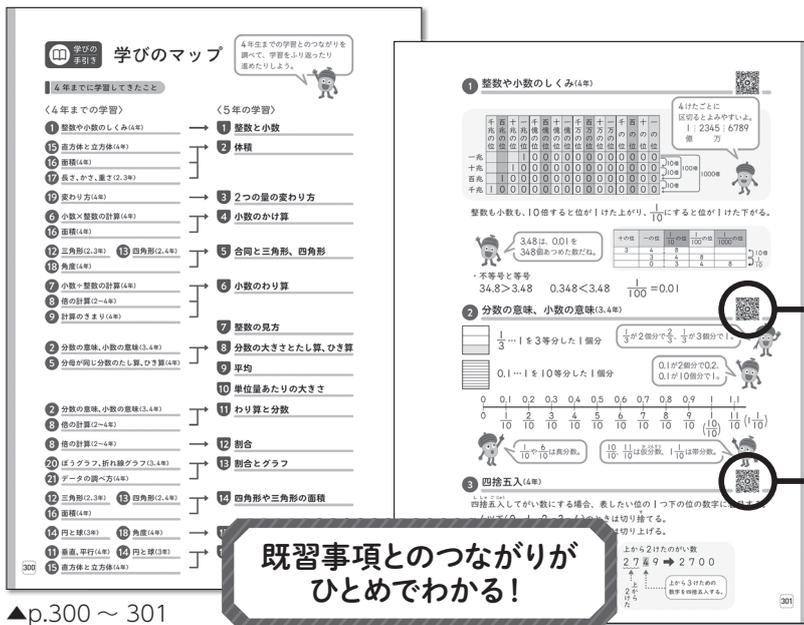
▲p.75からリンク

学習指導要領との対照表 p.1

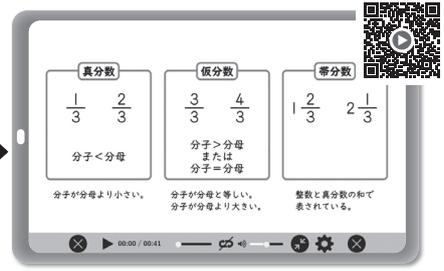
デジタルコンテンツ「まなびリンク」

2 学年を超えた学び直しが、確かな学力を育てる！

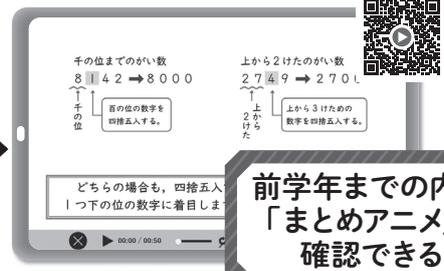
巻末「学びのマップ」で、学年を超えて既習事項を振り返れるようにしました。わからない箇所があるときや、関連する内容を振り返りたいときにいつでも参照できるから、基礎・基本が定着します。



▲p.300～301



▲4年 分数の意味

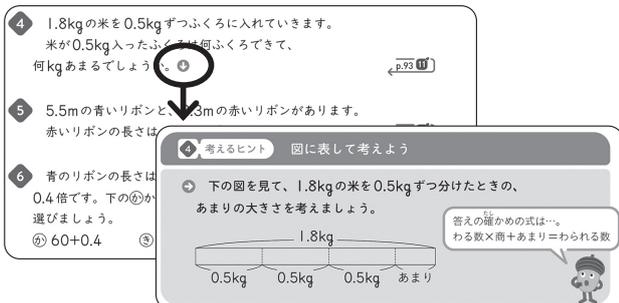


▲4年 四捨五入

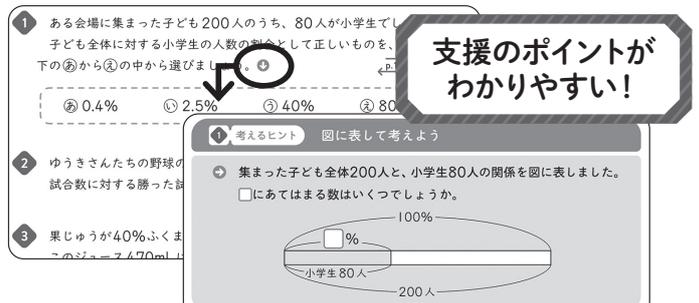
前学年までの内容も「まとめアニメ」で確認できる！

3 つまづきのポイントを丁寧に支援するから、学力が伸びる！

各種学力調査でつまづきが見られる問題に対して「考えるヒント」を掲載しました。単元ごとに、典型的なまちがいが起こりやすい問題をクローズアップするので、より丁寧な支援ができます。



▲p.98



▲p.189

支援のポイントがわかりやすい！

## 2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 整数と小数	問題を発見し、生活経験や既習の学習をもとに解決しようとする活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.11～13
2 体積	協働的に問題を解決したり、友だちのノートの書き方のいいところを見つけたりする活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.22～23 p.32～33
3 2つの量の変り方	学習した見方・考え方をもとに新たな問題を発見し、追究しようとする活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.40～41
4 小数のかけ算	式の意味や、求めた答えの意味について問いをもち、図や式などを使って説明する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.48～51
5 合同と三角形、四角形	三角形の内角の和で見いだしたきまりをもとに、四角形の内角の和についても発展的に考え追究する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.74～76
6 小数のわり算	式の意味や、求めた答えの意味について問いをもち、図や式などを使って説明する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.82～85
7 整数の見方	友だちの考えを関連づけたり、みんなで見いだしたことを発展させて深めたりする対話的な学びを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.102～104
8 分数の大きさとたし算、ひき算	友だちと一緒に学びながら学習課題を見いだす活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.117
9 平均	平均の学習を活用して、自分の歩幅で身のまわりの長さを測る活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.138
10 単位量あたりの大きさ	協働的に問題を解決したり、友だちのノートの書き方のいいところを見つけたりする活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.144～147
11 わり算と分数	自ら問いをもち、追究し、さらなる問いへとつなげていく姿をフキダシで示し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.163～165
12 割合	場面の数値や式の意味、求めた答えの意味について問いをもち、図や式などを使って説明する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.174～178
13 割合とグラフ	東京都のブルーベリーの収穫量が日本一であることについてグラフを使って伝える活動を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにしました。(第2号)	p.190～197
14 四角形や三角形の面積	自ら問いをもち、追究し、さらなる問いへとつなげていく姿をフキダシで示し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.206、211
15 正多角形と円	コンピュータは人が命令を与えることによって動作することに気づき、より主体的に活用していくきっかけとなるように、正多角形の作図のプログラムを作成する活動を取り入れ、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.234～235
16 角柱と円柱	友だちと一緒に学びながら学習課題を見いだす活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.246～247
★ 算数を使って考えよう	ユネスコ無形文化遺産「和食」について調べる題材を通して、伝統や文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしました。(第5号)	p.256～257
巻頭・巻末	準天頂衛星「みちびき」について紹介する話題を通して、伝統や文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました。(第5号)	表3

## 3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### ○ESD・SDGsへの取り組み

- ・現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。

### ○人権教育・特別支援教育

- ・人権を尊重し、あらゆる差別をなくし、ジェンダーやLGBTQなどについても理解が深められるよう配慮しました。
- ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しました。
- ・紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-140	小学校	算数	算数	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 518	小学算数 5		

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

1 デジタルコンテンツ「まなびリンク」で、“もっとわかる・できる・納得する”

全591か所  
(5年生用  
119か所)



### まとめアニメーション

毎時の知識・技能まとめをアニメーションにして、文字だけでなく視覚的にも理解が深められるようにしました。

①わる数が整数になるように、小数点を右へ移す。  
②わられる数の小数点も、①で移した分だけ右へ移す。  
③商の小数点は、わられる数の移した小数点にそろえてうつ。

▲p.89からリンク

$2 \div 3 = \frac{2}{3}$

整数どうしのわり算の商は、分数で表すことができます。  
このとき、わる数を分母に、わられる数を分子にします。

▲p.165からリンク

円周の長さが直径の長さの何倍になっているかを表す数を、円周率といいます。

円周率 = 円周 ÷ 直径

▲p.238からリンク

### 作図や測定手順の動画・シミュレーション

自分のペースで繰り返し学べる作図・測定手順の動画や、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーションも豊富に用意しました。

⑥コンパスを少しずつ立てながら、

▲p.298からリンク

左利き用も!

▲p.205からリンク

▲p.249からリンク

### プログラミング教材

操作が簡単な独自開発のプログラミング教材により、プログラミング的思考に焦点化した授業を楽しく行えるようにしました。

▲p.234からリンク

▲p.234からリンク

# 2

## “見方・考え方のつながり”が見えるから、算数が得意になる

### つながるミカタ

各単元の見方・考え方を顕在化し、次の問題解決にもう一度活用することで、**学びの深まりを実感**できるようにしました。

**つながる ①**

こみくあいを比べるときは、面積か人数のどちらか一方を**そろえる**よかったね。

比べるときは**まずそろえる**。

いつでも比べやすいのは、「**1**」にそろえる方法だね。

はる  
かえで  
つばさ

③ 小学校と西小学校は、知てじゃいもを育てました。どちらのほうのほうが、よくとれたといえるでしょうか。

東小学校 25kg  
西小学校 30kg

④ じゃがいものわけばよしい。

⑤ じゃがいものわけばよしい。

▲p.149

**つながる ②**

割合は、基準量を決めて、もう一方の量がどれだけにあたるかを表した数だね。

割合は、基準量を決めて、もう一方の量がどれだけにあたるかを表した数だね。

割合を使う場面を、もっと知りたいな。

全体  
大人20人、子ども30人  
大人を1とみると子どもは1.5、全体を1とみると大人は0.4...

③ あいさんの学校の5年生の人数は112人で、アンケートでは、そのうち84人が「算数が好き」と答ました。算数が好きな人の割合を求めよう。

人数 84 112 1/2  
割合  $\frac{84}{112}$   $\frac{3}{4}$

割合を求めよう。

式  $\frac{84}{112}$  答え

▲p.179

単元のまとまりで、「ミカタに気づく⇒振り返る⇒また使う」

**つながる ③**

算数のミカタを広げよう！

三角形の面積は、図形を分ける見方のほかに、**倍にする**という見方を使って考えることができます。

2倍して長方形や平行四辺形とみて面積を求めて、あとでもとす。

このような見方は、ほかの場面でも使ってきました。

④ ⑤の形の体積

2倍して大きい立方体とみて。

▲p.217

単元や領域を超えた見方も…。

前学年までの見方も…。

**算数で使いたい見方・考え方**

4年生までに使ってきた算数のミカタ

⑥ 新しい計算のしかたを考えるときの見方

1.53+2.41  $\frac{4}{5} + \frac{3}{5}$  0.01をもとにして…  
1.53+2.41 → 0.01が(153+241)個

⑦ ⑧をもとにして…  
 $\frac{4}{5} + \frac{3}{5} \rightarrow \frac{1}{5}$ が(4+3)個

⑧ 今までに学習した計算と同じようにできるかな。

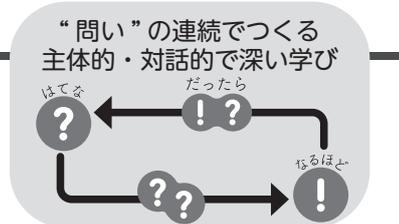
▲p.4

# 3

## 自ら未来を創り出していくための“問題発見力・解決力・追究力”を育てる

### 「学び方」を学ぶ3つのモデル単元

学年始めの単元1～3では、**問題発見力・問題解決力・問題追究力**の3つの力に焦点をあてて、算数の学び方を身につけられるようにしました。



**問題発見力モデル**

① 小数点 はどこ?

スポーツに関するさまざまな記録について、まよっています。

42195と42.195は、どっちも同じ数の場合です。

▲p.11～13

**算数の問題への気づきを重視**

42195の4、2、1、9、5はそれぞれ何の位の数字でしょうか。上の□にあてはまる数を書きましょう。

42195は5000の何倍ですか。

42195は5000の何倍ですか。

④ ⑤の形の体積を計算で求めよう。

表を横に見ると、表をたてに見ると、

式に当てはめて、高さや幅、体積を△cmとすると

△×20=1000  
△×1000=20  
△=50

答え 50cm

**問題追究力モデル**

① 下の②、③について、2つの量が比例の関係にあるものを選びましょう。

② 100gの中に10gの消しゴムを入れるときの、消しゴムの個と全体の重さ

▲p.40～41

**問題解決力モデル**

問いの深まりと振り返りを重視

② 立方体の、どの長さを使えば体積が求められるでしょうか。

③ 1つの辺の長さを2cm、4cm×3cm=12

④ 縦の長さを2cm、横の長さを4cm、高さの長さを3cm、体積を計算で求めよう。

⑤ 立方体の体積は、たての長さ、横の長さ、高さを使えば求められることができます。

⑥ 学習をふり返りましょう。

⑦ 立方体の体積は、たて、横、高さの3つの辺の長さで求められます。

⑧ 立方体の体積は、どんな形で求められるかな。

▲p.22～23

# 検討の観点と内容の特色



観 点	内容の特色	該当箇所
教育基本法、学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 教育基本法が掲げる教育の目的及び目標をふまえ、「問いつづけ、よりよいものを求めて改善しつづける子ども」の育成を旨として編修しました。</li> <li>▶ 学習指導要領に則り、その目標がよりよく実現されるように創意・工夫をしました。</li> </ul>	<p>全般</p> <p>全般</p>
主体的・対話的で深い学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <b>子どもの問いの連続【はてな？→なるほど！→だったら!?】</b>によって数学的活動を進められるようにしました。</li> <li>▶ 単元導入の【きっかけ】では、学ぶ意義を感じ、目的意識をもって取り組める教材や活動を工夫しました。</li> <li>▶ 【学びを深める問い??】で学び合いを焦点化し、対話的な学びをとおして見方・考え方を深めていけるようにしました。</li> </ul>	<p>p.143～145等</p> <p>p.142等</p> <p>p.144等</p>
基礎的・基本的な知識・技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 毎時の知識・技能まとめに【まとめアニメーション】を設け、文字だけでなく視覚的にも理解が深められるようにしました。また、巻末の【学びのマップ】では、下学年の内容も【まとめアニメーション】で振り返ることができるようにしました。</li> <li>▶ 各種学力調査で課題がみられる内容には【考えるヒント】を設け、つまずきやすいポイントを意識化しました。</li> </ul>	<p>p.75等</p> <p>p.301等</p> <p>p.189等</p>
思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 単元の前半で見いだした<b>数学的な見方・考え方を【つながるミカタ】で顕在化</b>し、後半の学習で自ら活用していけるようにしました。さらに、【つながるミカタプラス】では、<b>見方・考え方を領域を超えてつなぎ</b>、算数のコツをつかめるようにしました。</li> <li>▶ 単元末【学んだことを使おう】及び学年末【算数を使って考えよう】では、学習したことを活用し、日常の事象を数理的にとらえて問題発見・解決する数学的活動を扱い、「<b>何ができるようになったか</b>」を実感できるようにしました。</li> </ul>	<p>p.149等</p> <p>p.217等</p> <p>p.160等</p> <p>p.256～259</p>
学びに向かう力、人間性等の涵養	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <b>問題発見力・問題解決力・問題追究力の3つの力</b>に焦点をあてたモデル単元をそれぞれ設定し、よりよい未来を切り拓くための資質・能力の育成を旨しました。</li> <li>▶ 新学年の始めに、【授業開き教材】を用意し、問題解決の楽しさを味わいながら、<b>学習の進め方や学ぶ態度を学級で共有</b>できるようにしました。</li> </ul>	<p>p.11～13</p> <p>p.22～23</p> <p>p.40～41</p> <p>p.7～9</p>
ICTの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 無償で使えるデジタルコンテンツ【まなびリンク】では、<b>まとめアニメーションや作図手順の動画、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーション</b>を豊富に設けました。</li> <li>▶ <b>操作が簡単な独自開発のプログラミング教材</b>により、「プログラミング的思考」に焦点化した授業が行えるようにしました。</li> </ul>	 <p>p.234～235</p>
体験的活動の重視	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 計算のしかたを考え説明したり、図形の性質を見いだしたりする場面などでは、<b>具体的な体験によって学ぶ活動（ハンズオン）</b>を重視しました。</li> </ul>	<p>p.46等</p>
言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 【算数で使いたい見方・考え方】では、<b>子どもの言葉で数学的な見方・考え方を表現</b>し、それらの言葉を使って学び合えるようにしました。</li> </ul>	<p>p.4～6</p>
学年間の系統性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 単元導入などでは、<b>既習事項との関連を図りながら学習内容を広げて</b>いけるようにしました。</li> <li>▶ 巻末【学びのマップ】には<b>既習事項の一覧を掲載</b>し、関連する内容を適宜確認できるようにしました。</li> </ul>	<p>p.48等</p> <p>p.300～307</p>

観 点	内容の特色	該当箇所
他教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 東京の食料生産と関連させた題材を取り上げるなど、<b>教科横断的に取り組める教材</b>を設けました。</li> <li>▶ 道徳科との関連を図り、友だちのノートのよいところを見つける活動を設け、<b>お互いのよさを認め合う心</b>を育てるようにしました。</li> </ul>	p.190等 p.32～33等
現代的な諸課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 食品ロスや再生可能エネルギーに関するグラフを調べる場面を題材として取り上げるなど、<b>SDGs</b>への関心が高められるようにしました。</li> <li>▶ 衛星測位システムなどの最先端の科学技術を紹介し、算数の有用性を感じられるようにするとともに、<b>将来の職業を考えるきっかけ</b>となるようにしました。</li> </ul>	p.293等 表3等
個に応じた学習、少人数指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 巻末の練習問題【ステップアップ算数】は、「きほんの問題」と「ジャンプ問題」に分けて、<b>習熟度に応じて練習問題の量を調整</b>できるようにしました。</li> </ul>	p.265～283
教科担任制	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 高学年は【上下合冊】にして、既習事項と関連づける<b>系統的な指導</b>をしやすいようにしました。</li> <li>▶ 巻末【広がる算数】では、興味・関心を刺激する探究的な教材を掲載し、<b>より深く算数のおもしろさを味わう授業</b>ができるようにしました。</li> </ul>	全般 p.289～295
特別支援教育・ユニバーサルデザインへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 専門家の監修のもと、<b>カラーユニバーサルデザインに配慮</b>しました。</li> <li>▶ <b>ロービジョン（弱視）やディスレクシア（読み書き障がい）に配慮</b>した「UD デジタル教科書体」を採用しました。</li> <li>▶ 読みやすい改行や、余白を生かしたレイアウトなど、<b>落ち着いて学べる紙面づくり</b>に配慮しました。また、デジタル教科書や拡大教科書を用意し、多様なニーズに対応できるようにします。</li> </ul>	全般 全般 全般
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 文章は平易で簡潔、かつ理解しやすいように配慮しました。</li> <li>▶ 教材選定や場面の表現では、言葉遣いや服の色など、<b>固定的なイメージで性の区別をしないようにする</b>など、<b>多様性や人権について十分に配慮</b>しました。</li> </ul>	全般 全般
配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 系統性や習熟期間などを考慮し、<b>最適な学習効果が得られる単元配列</b>を工夫しました。</li> <li>▶ 基礎・基本の内容と、選択的な内容を分け、標準時数の中で無理なく習得することができるようにするとともに、単元の学習や家庭学習において、<b>定着のために十分な分量の問題</b>を用意しました。</li> </ul>	全般 全般
印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 紙の強度を維持しつつ、<b>軽量の紙を使用</b>することで児童の身体的な負担に配慮しました。</li> <li>▶ 環境やアレルギーなどに配慮し、<b>再生紙と植物油インキ</b>を使用しました。また、表紙には<b>抗菌加工</b>をしました。</li> </ul>	全般 全般
創意・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 「学びやすさ」の観点から、<b>算数の学び方</b>を身につけられるように工夫しました。また、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の両面で、<b>デジタルコンテンツを有効に活用</b>して理解を深められるようにしました。</li> <li>▶ 「授業のしやすさ」の観点から、<b>問題解決型の授業の流れ</b>に沿った学習展開で構成するとともに、<b>指導内容や見方・考え方の系統性</b>がわかりやすくなるように工夫しました。また、主体的な学びのきっかけをつくる導入活動や、ねらいにせまる発問、対話的な学びを促す発問などがわかりやすくなるように工夫しました。</li> <li>▶ 「学力向上」の観点から、習熟の機会を豊富に設けるとともに、<b>各種学力調査等で課題がみられる基礎・基本の問題</b>を意図的に取り上げ、丁寧な支援ができるように工夫しました。また、全国学力・学習状況調査をふまえ、<b>読解力・表現力等を育成する問題</b>を扱いました。</li> <li>▶ 「算数好きを増やす」観点から、<b>自ら考えたり、友だちと学んだりする楽しさ</b>を味わえるように工夫しました。また、子どもたちの<b>興味・関心を高める教材</b>を豊富に用意しました。</li> </ul>	全般 全般 全般 全般

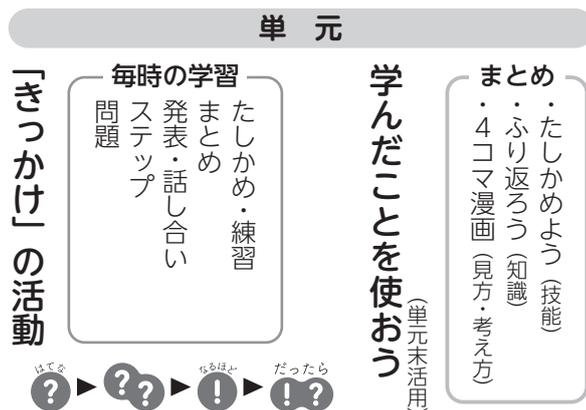
## 2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
★ 2つに分けよう	指3(2)(3)(4)(5)	p.7~9	2
1 整数と小数	A(2)ア(ア)イ(ア)	p.11~17	3
2 体積	B(4)ア(ア)イ(ア)	p.18~35	11
3 2つの量の変り方	A(6)ア(ア)イ(ア) C(1)ア(ア)イ(ア)	p.36~45	6
■ 2000cm <sup>3</sup> を作ろう	A(6)ア(ア) B(4)ア(ア)イ(ア)	p.46	1
4 小数のかけ算	A(3)ア(ア)イ(ア)ウ(ア)イ(ア) A(6)ア(ア)	p.48~60	10
5 合同と三角形、四角形	B(1)ア(ア)イ(ア)イ(ア) 内(2)	p.62~81	14
6 小数のわり算	A(3)ア(ア)イ(ア)ウ(ア)イ(ア)	p.82~98	13
■ ご石の数え方	A(6)ア(ア)	p.99	1
7 整数の見方	A(1)ア(ア)イ(ア)イ(ア) 内(1)	p.101~116	11
8 分数の大きさとし算、ひき算	A(4)ア(ア)ウ(ア)エ(ア)イ(ア) A(5)ア(ア)イ(ア)	p.117~129	9
9 平均	D(2)ア(ア)イ(ア)	p.130~140	7
■ 奇数と偶数に分けて	A(1)ア(ア)イ(ア)	p.141	1
10 単位量あたりの大きさ	C(2)ア(ア)イ(ア)	p.142~162	12
11 わり算と分数	A(4)ア(ア)イ(ア)イ(ア)	p.163~171	6
■ 九九の表を調べよう	D(2)ア(ア)	p.172	1
12 割合	C(3)ア(ア)イ(ア)イ(ア) 内(4)	p.174~189	12
13 割合とグラフ	D(1)ア(ア)イ(ア)イ(ア) 内(5)	p.190~201	7
14 四角形や三角形の面積	A(6)イ(ア) B(3)ア(ア)イ(ア) C(1)ア(ア)	p.204~227	16
15 正多角形と円	A(6)イ(ア) B(1)ア(ア)ウ(ア)エ(ア)イ(ア) C(1)ア(ア) 内(3) 指2(2)	p.228~244	11
16 角柱と円柱	B(2)ア(ア)イ(ア)	p.246~254	6
■ 三角形に変身	A(6)ア(ア) B(3)ア(ア)イ(ア)	p.255	1
★ 算数を使って考えよう	C(3)ア(ア)イ(ア)イ(ア) D(1)ア(ア)イ(ア)イ(ア) 指2(1) A(6)ア(ア) C(3)ア(ア)イ(ア)イ(ア) 指2(1)	p.256~257 p.258~259	2
◎ 5年のまとめ	指1(2)	p.260~263	2
※内：内容の取扱い			(予備時数 10時間) 計 165
※指：第3指導計画の作成と内容の取扱い			

## 教科書の構成

みんなで算数をはじめよう！

- ・2つに分けよう(授業開き教材)
- ・まなびリンクを使って学ぼう
- ・算数で使いたい見方・考え方



復習

算数ワールド(特設教材)

算数を使って考えよう

(学年末活用)

学年のまとめ

自分で取り組むページ

- ・教科書に出てきた言葉
- ・学びのマップ(既習内容のまとめ)
- ・学びの手引き(図のかき方等)
- ・プログラミングにちよう戦
- ・広がる算数
- ・ステップアップ算数(家庭学習)

# 編修趣意書

## (発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-140	小学校	算数	算数	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 518	小学算数5		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
74	算数ひろば	1	B(1)ア(イ) 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。 上記に関連して、三角形の3つの角の大きさの和などを調べる活動の中で、「内角」、「内角の和」の用語を知る。	0.25
202	四角形の関係調べよう	1	B(1)イ(ア) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすること。 上記に関連して、既習の四角形（台形、平行四辺形、ひし形、長方形、正方形）の性質を表にまとめ、それらの相互関係について考察する。また、その関係をベン図に表すことができることを知る。	1
239	算数ひろば	1	B(1)ア(ウ) 円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ること。 上記に関連して、円を2つの半径で切り取ってできる図形を「おうぎ形」ということや、この2つの半径の間の角を「中心角」ということを知る。	0.25
291	不思議な整数 素数って何？	1	A(1)ア(イ) 約数、倍数について知ること。 上記に関連して、素数の意味を知り、素数を見つける活動を通して、整数についての理解を深める。	1
合 計				2.5

〔「類型」欄の分類について〕

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容